

名古屋芸術大学グループ 通信

29
October
2014



音楽学部に
新コース誕生!

ステージをつくるプロを育成する エンターテインメント ディレクションコース

Close up! NUA-ism ~進化する「名古屋芸大」のDNA

NUA-OB
育てることの面白さ
平松知恵

NUA-Graduate student
大学院音楽研究科 器楽専攻
戸田 恵

Lecture [レクチャー]
特別講義や講演会など
■ 小鎌治邦隆氏による
特別公開講座が開催されました

**International exchange
Activity** [国際交流活動]
海外の学術姉妹提携校との交流活動など
■ 2014年度前期来訪交換留学生
(美術・デザイン学部)の作品展が開催されました

News/Topics ニュース&トピックス

大学総合
■ 名古屋芸大生 募サポート募金の活動状況

音楽学部
■ 電子オルガンコースの
ワークショップが開催されました
■ Nagoya University of Arts Strings
第7回定期演奏会

人間発達学部
■ オープンキャンパスが開催されました

美術学部・デザイン学部
■ オープンキャンパス2014が開催されました
■ 小中学生とシニアの芸術体験イベント
「一日芸大生」が行われました
■ クラフトブロック前期制作展
「素材展」が開催されました

名古屋芸大グループ校特集
■ 名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園

コラムNUA
「世界劇場」
デザイン学部教養部会教授 依田義丸

Master Artist
マスターアーティスト
受け継ぐもの
美術学部 教授
三枝 優

Information
インフォメーション
■ 出版
■ 2014年度 音楽学部 演奏会スケジュール
■ アート&デザインセンター
2014年度展覧会スケジュール
■ 2015年度入試日程



名古屋芸術大学グループ

<http://www.nua.ac.jp>

■ 名古屋芸術大学・大学院：音楽研究科 学部：音楽学部
美術研究科 美術学部
デザイン研究科 デザイン学部
人間発達学研究所 人間発達学部
■ 名古屋芸術大学保育・福祉専門学校
■ 名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園
■ 滝子幼稚園 ■ たきこ幼児園
■ 名古屋音楽学校(名古屋芸術大学 栄サテライト)



★
音楽学部に
新コース誕生!
 ★★

Feature

ステージをつくるプロを育成する エンターテインメントディレクションコース

アーティストのライブやコンサートは、単に「音楽を聴かせる」だけではなく「音楽を魅せる」ための場になりつつあります。それにともない、ステージをつくりだすディレクター・プランナー・音響・照明など、舞台裏のプロフェッショナル達が注目されています。本学では、2015年4月より、音楽学部「エンターテインメントディレクションコース」を新設。舞台制作に関わる知識・技術を総合的に学び、将来、舞台のスペシャリストとして、新たなミュージックシーンを切り開く人材の育成を行います。

今回の特集では、夏休み中の8月6日に行われた説明会とイベントの様子をお伝えし、「エンターテインメントディレクションコース」についてご紹介致します。



当日上演されたミニミュージカル「君の手で、ステージをつくろう」



8月13日から19日までの期間限定で、名古屋駅、名鉄メンズ館前のナナちゃん人形が、名古屋芸術大学 音楽学部新設する「エンターテインメントディレクションコース」仕様になりました。



名古屋芸術大学 2014 CM エンターテインメントディレクションコース



午前11:00から東キャンパス2号館 中アンサンブル室で、説明会が始まりました。開場には、60名ほどの高校生とその保護者の方々に越えただきほぼ満席となり、新設コースへの関心の高さが窺えました。始めに、片岡祐司副学長からのあいさつがあり、続いて山田敏裕音楽学部長、森泉博行教授から、具体的なコースの内容についての説明が行われました。説明の間、参加者の多くにメモをとる姿が見受けられ、熱心に聞き入っている様子でした。昼食の間も、待機していた先生方に質問している高校生があちこちに見られ、実りのある説明会になりました。

午後からは、大アンサンブル室に場所を移し、ミニミュージカル「君の手で、ステージをつくらう」が上演されました。こちらも、ステージはもちろんのこと舞台の袖や背後で準備をするスタッフにも、観劇者たちからの熱い視線が送られていることが印象的でした。



説明会から エンターテインメント ディレクションコースについて



ミュージカルコース 森泉博行教授

劇作家・演出家
シェイクスピア作品のミュージカル化、東宝や松竹のミュージカルなど、数多くのステージの台本・演出を担当。また、ジャニーズ・ミュージカルでも台本・演出などを担当している。

東京グローブ座 ミュージカル「ローマを見た」演出
本多劇場 ミュージカル「賢者の贈り物」演出
帝国劇場 「SHOCK」潤色
大阪松竹座 「関ジャニ∞ Another's ANOTHER」台本・演出
新橋演舞場 「滝沢歌舞伎」台本・演出

【所属学会】日本演劇協会/日本劇作家協会/日本演出者協会

音楽の世界は、この15年、20年で、ものすごいスピードで変わってきています。その変化に合わせて、新しい能力、人材が求められています。そこで、この音楽の世界の現状に合わせて、今の音楽の世界で活躍できる方たちを育成するために、この新しいエンターテインメントディレクションコースを設立することになりました。現在から20年ほど前であれば、例えば30人の出演者のステージを作る場合、スタッフの数というのは、やはり30人ほどでした。ところが最近では、30人の出演者であれば、80~90人のスタッフが必要のように変わってきています。それだけ仕事の種類が増えたということと、仕事が多分化していったということが理由です。

であると言えます。この二つのキーワードをもとにして音楽の世界は変わっていています。音楽は「聞く」ものですね。しかし、エンターテインメント、あるいはショービジネスの世界では、ここにさらに音楽を「見せる」というアイデアを持ち込みました。以前なら「演奏会を聴きに行ってきた」と言いましたが、最近では「コンサートを見に行ってきた」と言うように変わってきています。コンサートというものが聞くものから、見る、あるいは見せるといふふうに変化しました。そこで、これまで音楽の世界にはなかった新しい職業、ステージをデザインする人、衣装をデザインする人、照明、映像、特殊効果など、以前にはなかった仕事が生じてきました。

成した作品がそのまま観客の目に触れます。ところがステージデザイナーというのは発想することが仕事であって、ステージデザイナーが自分でステージを作るということはありません。ステージデザイナーは、音楽を聴いて、こういう世界をつくりたいと考える。そこへ、絵を描く担当の方やあるいは道具を作る方たちが、その発想を現実化していくということになります。衣装デザイナーも同じです。音楽と背景に合わせて、ひらめきと発想で様々なプランを出すことが仕事です。実際に衣装をつくるのは、別の衣装を製作の方たちが行います。従来ならデザインした人が衣装を製作するのが当たり前でしたが、現在では分業化が進み、発想する人と実際につくる方に仕事が多分化してきました。アイデアを出す方は、この音楽に合わせてどんな色、どんな形の衣装がいいかを考える。作る方は、どういう作り方をすれば歌いやすく踊りやすくなるだろうかというようなことを考えます。

照明の場合も同じです。照明デザイナーは、コンサートのコンセプトや構成を理解し、より効果的に見せる照明プランを立案します。これをもとに、実際に照明を操作するのがオペレーターです。オペレーターも以前であれば5人程度だったのですが、皆さんもコンサートなどで動く照明をご覧になったことあるかと思いますが、コンピューター制御で動く照明が登場し、大幅にスタッフの数も増えてきました。ムービングライトと言いますが、これ使う場合、通常照明のプランをする人、照明を操作するオペレーター、またはそれとは別に、ムービングライトのプランをする人、その操作をする人、というように照明に係る人の人数も増えてきています。このように、様々な分野で様々な専門家たちがアイデアを出し合って一つのコンサートができていけると言えます。そして、そのプランを立案する場合にも、操作する場合にも、音楽の知識が求められています。

「エンターテインメント」と「ショービジネス」

なぜ、仕事の種類が増え細分化されていったか、その秘密を解くキーワードが「エンターテインメント」と「ショービジネス」と2つの言葉です。エンターテインメントというと、日本では少しばかり軽い意味にとられがちですが、エンターテインメント本来の意味は、質の高い娯楽という意味です。質が高く、多くの人を楽しめるステージを目指すこと、これが新しい音楽の世界をつくっていく精神です。そして、ショービジネスというのは、エンターテインメントを作り上げていくための方法論、システム

音楽との関係

例えば、ももいろクローバーZのコンサートを皆さんが担当するとしましょう。まずステージデザイナーがどういう背景、どういう風景の中でもクロの5人を立たせればいだろうかと考えます。次に、その背景の中でどんな衣装を着させればいかに衣装デザイナーが、どんな光の世界をつくれればいかに照明デザイナーが……、というようにそれぞれ考えるわけです。さてここで、なぜ美術ではなく音楽かということが問題になるかと思えます。

舞台のデザイナーと画家の違いを考えてみましょう。画家というのは、自分が手を動かして作

取得できる資格

照明でも音響でも、デザイナー、プランナー、オペレーター、などいくつもの仕事があるのですが、このオペレーターという実際に操作する

仕事、音響や照明の卓（コンソール）、そのほか劇場の管理をするこの方たちには、資格というものがようになります。そこでエンターテインメントディレクションコースでは4年間で音響、照明、劇場管理の資格がとれるような設定になっています。今のところ、2年間で初級の資格をとっていただき、4年までに中級の資格をとっていただけるようカリキュラムを組んでいます。この資格は劇場あるいはコンサートホール、市民会館などに就職するにあたっては、重視される場合がありますので、一応、このコースを選択する学生には、この三つの資格を取得していただくことになっています。

資格取得

国家資格

「舞台機構調整（音響機構調整作業）2級・3級」

社団法人日本照明家協会

「照明技術者検定2級」

「見せる音楽」から「参加させる音楽」へ

さて、エンターテインメントとショービジネスは音楽の世界を変えてきましたが、改革はまだ終わりません。音楽を聴かせる、音楽を見せる、それに加えて、音楽に参加させる、というアイデアを持ち込みました。最近では当たり前になりましたが、コンサートへ行っても立つ、あるいは団扇を振る、手拍子を打つ、ペンライトを振る、これらの行為は、音楽に参加しているということを意味します。音楽に参加して頂くということは、観客と一緒にステージを作っていくことにつながります。これもエンターテインメントの特徴の一つです。改革を重ねれば重ねるほど、だんだんとエンターテインメントの輪郭がはっきりしてきて、輪郭がはっきりしてきたのと同時に、次に何を学ばいいのかということもはっきりしてきています。音楽に参加させるということになった時、また新しい職業ができました。音楽の世界に、作家というもの出現させました。構成作家と言いますが、構成作家は、まずコンサートのテーマを決める、曲を選ぶ、曲順を決める、曲順によって一つのドラマを生み出す、こうしたことを考え、構成台本というものを書きます。音楽のコンサートでは演者が曲と曲の間におしゃべりをし、あたかもフリートークのように聞えますが、実はあれも構成作家の方が基本的な内容を書いています。

第一線で活躍している人材を特別講師に

皆さんは、「スーパー歌舞伎」をご存じでしょうか？ スーパー歌舞伎は、歌舞伎界を大きく変革をいたしました。スーパー歌舞伎を作った人たちは、エンターテインメントとショービジネスの考えを、歌舞伎の世界で更に前進させ



した。当初は、伝統的な歌舞伎の方たちから認められていませんでしたが、今では、歌舞伎全体がスーパー歌舞伎化してきていると言っても過言ではありません。スーパー歌舞伎は、もともと歌舞伎をつくっていなかったスタッフが集まり始められました。衣装は、毛利臣男さんとパリオペラ座でバレエの衣装を制作していた、桜井久美さんという方を招き歌舞伎の衣装を制作しました。この桜井久美さんを、特別講師としてお招きする予定になっています。歌舞伎の「宙乗り」というのをご存じでしょうか？ これは歌舞伎の伝統的な技法なのですが、ワイヤで演者を吊って空中を移動することですが、スーパー歌舞伎では、歌舞伎をやっていたらスタッフではなく舞台をつくっていた特殊効果のスタッフに頼みました。この方が、宙乗りだけではなく、歌舞伎の舞台に、雨を降らせる、滝を作り出す、洪水を起こすという、これまでになかった効果を持ち込みました。この方も、新しいコースで特別講師として教えていただく予定です。

これから皆さんが学んで、もしもこの世界にはいるとすれば、今行われていることよりもっと新しいことが必要になります。今よりもっと新しいことを実現するためには、今現在の最新のことを学んでおく必要があります。そのため、今一番新しい仕事をしている方たちを、特別講師としてお招きすることを考えています。

エンターテインメントディレクションコースでは、今現在、実際にステージなどで活躍されている方をお招きして、実際にその人たちから習うということに重点を置いています。現在の舞台がどうやってできているか、最新の現場がどうなっているか、ということを理解していただくことが、自分たちが将来つくるステージは

どんなふうであればいいのかを考える、そのヒントになるのではないかと思います。

眠っている才能を開花させるトレーニング

先ほどから私が、ひらめきですとかアイデアですとか、感覚が大事だというお話をさせていただいていますが、これらをどうやって養ってあげればいいのかをお話します。まず、人間である以上を全く才能がないということはありません。誰でもが、それぞれの個性と能力を持っています。ただし、私たちのようなエンターテインメントに関係する仕事に就かない限り、こうすることで生かされる能力は必要ありません。これまでの人生では、こうした力は活用されていません。自分の中に眠っている状態だということもできるでしょう。それをエンターテインメントディレクションコースの中で刺激し、いままで使っていなかったものを目覚めさせることで、ひらめきや想像力、そしてそれらの瞬発力を、鍛えていきます。一人ひとり個性が違うことも重要なことです。一人ひとりの異なる個性的な発想を大事にしながら、新しい人材を育てられればと考えております。



【就職関係一覧】

企画・プロデューサー・演出家・構成作家・美術デザイナー・美術製作者・衣装デザイナー・衣装製作者・スタイリスト・照明デザイナー・照明オペレーター・ムービングライトデザイナー・ムービングライトオペレーター・音響デザイナー・音響オペレーター・音響効果・電飾・イルミネーション設計・特殊小道具・特殊効果・フライングコーディネーター・フライングオペレーター・ステージ進行・劇場管理・劇場運営・幕内スタッフ・プロモーションビデオ制作・音楽番組制作・コンサートビデオ映像制作・アニメーション作品映像音楽制作・ゲーム音楽制作・CM制作・CMソング制作・ショッピングモールBGM制作・音楽プロデューサー・コンサート企画・制作・構成・コンサートディレクター



説明会から 選抜方法、 入学後の イメージ について

音楽学部長
山田敏裕教授

エンターテインメントディレクションコースと、従来から本学で行われているサウンドメディアコース、アートマネジメントコースとでは、一部重なる部分があります。それについて説明致します。

まず、アートマネジメントとはどういうことを勉強するところかと言えば、文化庁が国の方針として推し進めている文化芸術振興の観点から音楽文化制作というものを学んでいくコースです。具体的には、地域の音楽文化の発展・提供のために、こちら側からその地域に行ってコンサートを企画・制作・運営し、音楽と社会を結びつける、音楽ビジネスおよびステージマネジメントを学ぶコースになっています。サウンドメディアコースでは様々な音や音楽を素材とした作品を制作、表現するために音楽に係る知識を学んでいただくことになります。音楽制作、作曲や編曲、それから録音、音響、アートについて、総合的に学んでいくというコースになっております。

また、音楽学部には、音楽総合コースというコースがあります。これは今まで、設置しておりました既存のコース、先ほど説明しましたアートマネジメントコース、サウンドメディアコース、さらに演奏系の弦管打、声楽、ピアノ、ジャズ・ポップス、作曲、音楽教育……、諸々のコースが設定されていますが、音楽総合コースではこれらの中からカリキュラムを自分で組み立てて勉強できるというコースであります。その音楽総合コースと、今回新設されるエンターテインメントディレクションコースでは、カリキュラムを切り分け区別しております。エンターテインメントディレクションコースは、他のコースとは区別し特化してやっています。

学費、カリキュラムについて

学費についても、これまでの既存コースの学費に比べてかなり低い学費を提示しております。

エンターテインメントディレクションコースでは、セッション&アンサンブルという授業科目がありまして、ここで実技・音楽表現、楽器の勉強をすることができますが、さらに専門的な勉強をしてみたいと思われる方もいらっしゃる



エンターテインメント ディレクションコース

舞台制作を総合的に学び、
音楽を魅せるステージをつくりだす。

- 照明デザイナー・オペレーター
- ブッキングマネージャー
- コンサートディレクター
- 劇団舞台スタッフ
- 大道具・小道具



- ステージPA
(音響)
オペレーター

- サウンドクリエイター
- レコーディングエンジニア
- MA ミキサー
- サウンドデザイナー
- SR エンジニア
- 作曲家
- 放送ミキサー

サウンド・メディアコース

最先端テクノロジーを学び、
音・音楽をつくりだす。



- コンサート
プランナー
- 舞台監督

- 音楽プロデューサー
- アートファシリテーター
- アートマネージャー
- 音楽ディレクター

アートマネジメントコース

音楽マネジメントを学び、
作り手と受け手をつなぐ。

と思います。実技系の部分については有料オプションとはなりますが、選択することができますようにしてあります。

学納金		
	1年次	2年次
入学金	200,000円	
授業料	700,000円	700,000円
教育充実費	400,000円	400,000円
実習費	100,000円	100,000円
合計	1,400,000円	1,200,000円

※実技レッスンはオプションとなります。

※在学中に他の学科・コースへの移籍はできません。

※その他の納付金(2014年度参考)

- ・学生教育研究災害傷害保険料 3,300円(入学時のみ)
- ・学生教育研究賠償責任保険料 1,360円(入学時のみ)
- ・後援会費 16,000円(2年次以降 10,000円/年間)
- ・同窓会費 29,000円(入学時のみ)

芸術大学としての意義

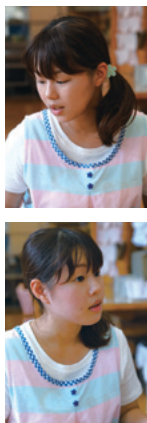
森泉からの説明にあったとおり、いろいろな就職先が想定できますが、それだけでと従来からのコースや専門学校に似ている部分もあります。本学で、このコースを学ぶ意味という部分で、特徴をご説明したいと思います。まずは、音楽の芸術大学でこれを設置するという事です。音楽が分かる人を育てる、楽譜が読める、音がわかる、そういう人材を育成していきたいと考えています。楽譜が読めるということは、音楽系の仕事に就く場合に非常に有利に働きます。照明や音響の技術を身につけている、それ

だけでは現在の就職状況を考えたときに、いささか不十分かと思われます。実際に楽譜が読めるという能力を身につけていただきたいと思っております。

それから、これからこの分野に求められていくものの一つに、外国語という部分もござい

ます。(森泉教授)東京の劇場で、「ミス・サイゴン」というミュージカルが上演されていますが、そこで働く外国人スタッフの数に驚きました。照明、衣装、舞台装置、演出等々がすべてイギリス人のスタッフであり、舞台稽古は基本的に英語で進行していました。これまでの音楽が理解できない、英語が理解できないというスタッフが、これまでどおりのままで仕事を続けるのが厳しい状況になっています。この現実を見ますと、エンターテインメントディレクションコースをでた学生たちには、英語で仕事ができるようにしていただきたいと思っております。また、今、舞台はすべて音楽で動いています。劇場のあちこちに指揮者の姿が見えるモニターが置いてあり、楽屋にもモニターが設置され指揮者の姿が見えるようになってきました。音楽に合わせて舞台が動いたり人が動くため、音楽や譜面を理解することが非常に重要です。音楽と英語、この二つをしっかりと学ぶことができるようカリキュラムを設定しております。

(山田学部長)説明にございましたが、舞台に係る英語というのはイギリス英語であります。通常の英語の授業に加え、エンターテインメントディレクションコースのために舞台の専門用語を含む英語の授業を設定しております。



育てることの面白さ



学生時代は、サークル活動でリズム体操部に所属。「私は、全然ガッツリな感じじゃなかったですけど、やっていました」イベントでリズム体操を披露

Vol.59
NUA-OB

平松知恵 (ひらまつ ちえ)
保育士

2013年 人間発達学部子ども発達学科卒業
2013年 平田保育園勤務

勤務する平田保育園にお伺いした。本学からも近い名古屋市西区平出町、郊外の住宅街といった風情の中、保育園とは思えない大きな建物である。聞けば、特別養護老人ホームと同じ建物に設置されている保育園なのだろう。自然の木材が多用された建築は、心を和ませる。広い厨房があり、大人用の食事と園児向けの昼食を賄い、何十人もが一度に利用できそうな喫茶室も用意されている。現れた平松さんは、子どもが安心しそうな可愛いエプロン姿。きっちりとは結ばれた髪と、飾り気なく整えられた爪に、保育士としての職業意識を感じさせる。「に入った年からゼロ歳児を担当していて、今年も引き続きゼロ歳児を見ているんです」



6人兄弟(!)の一番上なのだろう。自分が子どもの頃から、妹、弟の面倒を見てきた。周りに小さな子どもがいることは、ごく自然なことだったという。「おむつを替えたりとかは、ずっと家でもやってきたことなので慣れていましたね」一番下の弟さんは、平松さんが大学生時代に生まれたそうで、今もまだ幼稚園に通う年齢。母親を手伝って、妹、弟の面倒を見ていたことが保育士を志望した原点だ。「子どもとかかわるのは、やっぱり楽しいと思います。一番下の弟、めっちゃかわいいですよ(笑)」

学生時代は、保育士、幼稚園、小学校教諭、すべての資格を取得しようと思っていましたが、途中から考えが変わったという。「取れる資格を全部取るうとってやってい



ゼロ歳児と一緒に作品作り。「ゼロ歳児なのでまだ絵は描けないんですけど、シール貼りなら楽しみながらできます」



たんですけど、小学校の免許を取ろうと思うと教育実習が4年生になってからなんですよね。私は、就職活動が心配だったので小学校はあきらめよう。それに、実習をやっているうちに、やっぱり小さい子がかわいいなあと思って」



規模が大きな保育園施設だが、人数を伺うと現在180名ほどの子どもを預かっているとのこと。ゼロ歳児だけで12人、3人の保育士と1人の看護師でゼロ歳児を担当している。「お母さんの仕事にもよるんですが、朝早い子は7:00から保育園に来ています。生活パターンがみんなばらばらで、寝ている子もいれば起きている子もいるような感じ。保護者と連絡をとりながらひとりひとりの生活リズムに合わせて、機嫌良く一日が過ごせるように工夫していくのが難しいですね」

コミュニケーションも、難しさの一つと話す。「子どもだけでなく、お母さんとのやりとりもあります。自分が子どもを産んだ

ことがあるわけではないので、お母さんの気持ちって、全部理解できるわけじゃないですよ。でも、ここの保育園には出産後に復帰された先生がいらっしゃるの、そんな先輩にお母さんの気持ちのフォローなどはお願いしてって感じです。私なんか、まだまだ全然ですよ。大きな子どもへの対応や、子ども、一人ひとりに合わせた言葉の選び方など、日々勉強になるという。

「学生時代には、アルバイトでもボランティアでもいいので子どもとたくさんかわってほしいと思います」児童館で子どもと遊ぶアルバイトの経験がとても意義深かったとのこと。「その場では、そこにいる子どもたちとの関係を、一から始めなきゃならないじゃないですか。そうした経験がとても良かったと思います。自信にもつながりました」

仕事以外の楽しみは、「うちに帰って弟の面倒を見ること(笑)」と笑顔。人を育てるという仕事の大変さと同時に面白さを実感している様子が見えた。

なんとかなるものなんです



Vol.60
NUA-Graduate student
戸田 恵
(とだ めぐみ)
大学院音楽研究科 器楽専攻



【戸田恵 帰国記念ピアノリサイタル】
ラヴェル：ラヴァルス
2013年8月 豊中市立
アクア文化ホールにて



【ラヴェル：ピアノ協奏曲 第3楽章】
ピアノ：戸田恵
2011年3月 ウクライナ、キエフにて
守山俊吾指揮、ウクライナ国立交響楽団と共演



エコールノルマル音楽院



よく通ったオレンジ
リ美術館



大好きだったエッフェ
ル塔



よく通ったオレンジ
リ美術館



「ンジュール」って感じで言葉を交わすのが普通なので、人見知りじゃいられないんですよ

昨年フランスのコンクールを受けに行ったときの写真



入賞者4人



中沖玲子先生にご一緒に



ホームステイ先のマダムと

ー関西のお生まれで、大学はパリ音楽院、大学院で名古屋芸大、飛び回っていますね

はい。大阪生まれなんですけど、父の仕事の関係で引っ越しが多くて、小学生時代は岐阜に住んでいて、高校は兵庫県なんです。幼少の頃からピアノを始めて、小学生の頃は名古屋の先生に見ていただいていた。中学卒業までは岐阜にいて、その後父の転勤で関西に戻ったので、兵庫県の高校に行きました。高校に入ってから、今もお世話になっている中沖先生にも見ていただくようになり、名古屋へは良く通っていました。

ー高校は、音楽科ですね。早いうちから音楽の道へ進もうと決めていたの？

そんなことないですよ。高校は、普通科に行こうか迷ったんですけど、そんなに器用に勉強も音楽も両立させられるタイプではなかったので、それで音楽科を選びました。

ーでも、高校卒業してフランスへ行くなんて、すごいバイタリティ！

高校に入ってから実技のレッスンは、名古屋まで通っていたんです。そうしているうちに中沖先生から、今ではこの大学で行われているエコールノルマル音楽院のディプロマの存在をお聞きして受験しにパリへ行きました。後にフランスで見えていただくことになる先生も紹介して頂きました。そこで『パリ音楽院ってところ知ってるよね』という話になって、「もし受験を考えるのであれば、大学を卒業してからでは年齢制限にかかるとわよ」というお話だったんです。

ーそれで渡仏を決意したの？

いや、最初は全然そんなつもりはなかったんです。怖いし、フランス語も全然できないし、全然行く気がなくて『ふーん』って聞き流していたん

です(笑)。自分としては、普通に日本で音大を受験しようと思っていたんですが、なぜか母は真剣に考えていてくれたようで、「行ってみたら？」と背中を押してくれました。始めは『母がなんかすごいこと言ってるな〜』みたいにしか思ってなかったんですけど(笑)、確かに私も母も、日本で音大に行くにしても、東京の大学へと考えていました。そしたら母は東京へ出すのもパリへ出すのもそんなに変わらないと考えたようで、『こっちは変わるんだけどなあ……』と思いつつも、高校3年の時に2回目のディプロマを受けて、パリという街に少し慣れてきて、中沖先生の教え子の方でパリ在住の方が、お話しくださったり手伝ってくださったりで、行ってみようと思えました。

ーパリには何年いたの？

7年間ですね。パリ音楽院を目指して留学したんですけど入試が難しく、1年目は全然だめで、2年目も受からなかったんです。3回までしか受験できない制度がありまして、もし次だめだったらどうする、と両親と相談して、公立のパリ区立音楽院というのがあったんですが、とりあえずそこへ行き国立のパリ音楽院を目指すことにしました。ただ、区立の音楽院に入ってまた国立を受けるという、先生の側からすれば、自分のクラスに入ってきてまたすぐ出ていくことになるので反対されるようなことを聞いていて心配でした。最初に先生に勇気を出して相談してみると、素敵なお先生で国立を受けることを理解してくださ

て、とても力になってくださいました。結局、その先生からパリ音楽院の先生も紹介していただいて、それでやっとパリ音楽院に合格できました。それから4年間パリ音楽院に行って、7年間いることになったんです。

ーフランスに行ってよかったなって思うことってどんなこと？

音楽を勉強する環境として、非常によかったですよ。コンサートの数とか、日本ではなかなか聴くことができないような演奏家のコンサートが、学生ならすごく安い値段で聞けたりします。オペラとかももう毎日のようにやっていますし、バレエも見ようと思えば、学生なら5ユーロ(約700円)程度で、毎日でも見ることができます。一流の演奏がすごく身近なんです。またそういう方たちのマスタークラスも学校であれば、無料で聞きに行くことができました。パリ音楽院の学生でなくてもだれでも聞きに行くことができますよ。それがすごく大きかったですね。

ー少しでも気持ちがあればパリに行った方がいい？

少しでも行きたいと思う気持ちがあるなら、行っちゃえばなんとかなるものなんです！ 私も今だから言えることだと思いますが、なんとかなるんですよ。パリに留学している人達の日本人コネクションもありますし、応援します。ああ、それから、人見知りとかも治っちゃいますよ(笑)。



http://www.sutv.zaq.ne.jp/ckar1/107/

Lecture

【レクチャー】
特別講義や講演会など

小鍛治邦隆氏による 特別公開講座が 開催されました

東京藝術大学音楽学部作曲科教授の小鍛治邦隆先生の「対位法とフーガ」の公開講座が2014年7月3日(木)15時より実施されました。

地味な音楽理論の話ですから、聴衆も50～60名程度と考えると、2号館の中アンサンブル室を用意しました。ところが、雨模様のなか、予想以上200名近くの聴衆の方が聴きにきて下さり、教室に入りきらず、急遽3号館のホールに移動し実施することになりました。プ

リントも慌てて増刷、15分遅れての開始になりました。

テキストはパリ音楽院院長の作曲家ケルビーニの名著「対位法とフーガ講座」を使用しました。この本は、作曲家シューマンやショパン、またドビュッシーやラヴェルも学生時代に使用したと言われている名著で、この度、小鍛治先生の最新で出版されました。

西洋音楽の理論の基礎は、和声学と対位法です。今回の公開講座では、まず対位法とは何かとの説明から始まり、2声～4声の対位法から華麗対位法までの解説がありました。その後、よく知られたバッハのクラヴィーア曲《インヴェンション》、《シンフォニア》に言及し、主題の提示、5度上(4度下)の応答など、基本的なフーガの手法についてピアノを弾きながら、楽譜に基づいてのアナリーゼが行われました。主題の反



行、拡大、縮小等の作曲技法、ポリフォニックな曲に見られる嬉遊部、ストレッタ等の説明などは、普段の授業ではなかなか触れることのない知識です。専門家を目指す学生にとっては、有意義な講座であったと思います。

小鍛治先生は、20世紀後半の

フランスの代表的作曲家であるオリヴィエ・メシアン晩年の弟子です。機会がありましたら、メシアンの音楽技法、作風、ひととなりをお聴きしたいと思います。

音楽学部作曲コース教授
舟橋三十子

International exchange Activity

【国際交流活動】
海外の芸術姉妹提携校との
交流活動など

2014年度前期 来訪交歓留学生 (美術・デザイン学部)の 作品展が開催されました

2014年度前期に、美術・デザイン学部(本学西キャンパス)に交歓留学生として来訪した学生たちの作品展「GO」が、7月11日(金)～16日(木)まで、アート&デザインセンターギャラリーで開催されました。

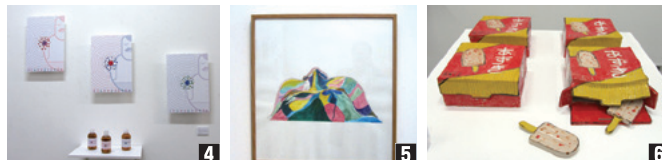
この展覧会は交歓留学生のアーティストたちが、この4月から4ヶ月間に亘り制作した作品を

集めた展覧会です。以前から専門としている分野、及び留学中に学んだ新たなアート・フォームやプロセスの展示になっています。

初日の夕刻より同センターにおいて、オープニングセレモニーが開催され、最初に国際交流センター長の水内智英氏より挨拶が行われ、続いて、センターの担当者加藤氏から留学生一人ひとりの紹介がありました。

本年度は、英国のブライトン大学から4名、タイ国のキングモンクット工科大学から1名、合計5名の留学生が来学し、それぞれ専門のコースに所属して、本学講師の指導や学生たちの協力のもと、さまざまな日本文化や伝統に触発されながら作品を制作しました。

展覧会には、彼女たちの集大成としての作品35点と、毛筆で書いた「書」なども展示されました。



1挨拶をする水内氏(右)と5名の留学生。右から2人目は加藤氏
2Betsy Rose Bradleyさんの作品
3Nuttida Krutpongさんの作品
4Nadeen Mashiniさんの作品
5Jessica Elizabeth Dyerさんの作品
6Alice Claire Stewardsonさんの作品

News & ニュース&トピックス Topics

大学総合

名古屋芸大生 夢サポート募金の活動状況

本学は、「学生のために」という視点を重要視し、「名古屋芸大生夢サポート募金」を2013年(平成25年)4月から開始、同年6月

から専用のホームページを開設いたしました。それに伴い、関係各位に募金のご賛同とご支援を依頼しましたところ、早速ご支援をいただきましたので、その状況を次のとおりお知らせします。

本募金は、学生一人ひとりが持つ夢とその可能性を引き出し、多様な社会環境の中で自信と誇りを持って、志高く社会で活躍できることを願い、寄附金の使途を6項目の中から指定して寄附をすることができる募金制度です。今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 1) 募集期間 2013年(平成25年)4月1日～2014年(平成26年)3月31日
- 2) 期間合計寄附金額 3,065,000円
- 3) 寄附金の使途別状況(2014年(平成26年)3月31日現在)

(単位:円)

寄附金の使途	寄附金額	使用金額	使用方法等
1 学生に対する奨学金	555,000	450,000	保護者の急変により学費支弁を継続することが極めて困難になった学生の修学を支援する「緊急奨学金」の一部として使用させていただきました。 ※残額(105,000円)は積立を行っております。
2 音楽活動支援事業	145,000	0	
3 制作活動支援事業	210,000	0	
4 子ども教育活動支援事業	120,000	0	
5 キャリア支援事業	270,000	0	
6 その他、学生支援の充実を図る事業	1,765,000	1,765,000	新入学生の大学生活、将来についての不安を少しでも和らげることを目的とした「フレッシュマンキャンブ」に係る費用、多様な学生相談対応の充実・強化のため精神科医による外部コンサルティングの費用等の学生支援に係る事業の一部に使用させていただきました。
合計	3,065,000	2,215,000	

4) 募金対象別状況

(単位:円)

	募金対象	寄附金額
1	卒業生	35,000
2	教職員・役員 (退職者含む)	2,490,000
3	その他賛同する 個人・法人・団体	540,000
	合計	3,065,000

5) 寄附者について

2013年度(平成25年度)にご寄附をいただいた方々は21名、1法人です。

○寄附者氏名の公表

(※氏名の公表を希望しない方を除く)

〈個人〉(※50音順 敬称略)

太田 龍朗、奥野 雅一、小倉 紀彦、加藤 尚二、川上 實、川村 大介、川村 宣夫、久野 真一、児島 重樹、佐治 良三、莊 良江、田上 義弘、竹本 義明、長崎 悟子、平野 春吉、堀江 龍昭、森 鈴枝、山口 加代子、山口 正博

〈法人〉

一般社団法人あおぞら

6) 寄附金の活用について

次の事業に係る費用の一部に寄附金が充当されました。

【寄附金の使途】

制作活動支援事業

【事業名】

Milano Salone Project 2014

【事業内容】

2014年4月、イタリアミラノにて開催された「サローネサテリテ2014」に出展。デザイン学部10名の学生と卒業生、デザイン学部契約助手を含めたチームを結成し、一年にわたりプロジェクトを進行しました。

また、2013年10月には新宿リビングデザインセンター OZONEにて開催された「LOVE LOCAL INDUSTRY展」にプレ展示として参加しました。

サローネサテリテは、若手デザイナーを対象に募集が行われ、毎年約30万人の来場者を迎え、インテリアデザインを中心に、世界各国から新進気鋭のデザイナーが出展する、インテリア界の登竜門的な国際家具見本市です。

私達は、日本の伝統的な素材である和紙を用いた新たなプロダクトを提案し、会期中は自らが会場にてプレゼンテーションを行いました。滞在中の10日間は国内では触れることのできないデザインの視点や感性を体験し、デザイ

ナーとしての今後に向けて大変貴重で刺激的な経験となりました。

プロジェクトチーム代表

デザイン学部契約助手 服部隼弥
(デザイン学部2009年度卒業生)



1



2



3

1 参加学生
2 会場の様子
3 出展作品
「molt22」

7) 名古屋芸大生夢サポート募金について

名古屋芸大生夢サポート募金の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL :

<http://www.nua.ac.jp/yumesupport/>

※Webで検索



音楽学部

電子オルガンコースのワークショップが開催されました

2014年7月13日(日)、東キャンパス2号館・3号館で、電子オルガンコースが主催する「ワークショップ2014」が開催されました。

これは、電子オルガンの演奏法やヤマハのエレクトーン最新機種「ELS-02シリーズ」の機能とその実力について、本学講師やヤマハ特別講師がレクチャーするワークショップです。今年で5回目を数えるこのワークショップには、中部・北陸エリアで電子オルガンを学ぶ小学生から高校生の皆さんに多数ご参加いただきました。

午前は「演奏講座」と「ELS-02講座」が行われました。50組、約70名の皆さんに参加していただいた演奏講座では、ステージ演奏と本学講師からの公開アドバイスが行われました。自身の演奏に対するアドバイスはもちろん、ほかの参加者の演奏やアドバイスを聞き取ることで、今後の演奏法の参考になったとの声が多く聞かれました。

また、電子オルガンコース担当講師の鷹野雅史によるELS-02シリーズの活用講座では、新たに加

わった優れた機能や、より生音に近づいたサンプリング音について、演奏テクニックなどを交えた詳しい解説が行われました。

午後からは、富岡ヤサヤ氏のライブステージと守屋純子氏によるビッグバンド・アレンジテクニックのプログラムが開催されました。世界を股にかけるエレクトーンパフォーマーの富岡氏のライブステージでは、ロックやジャズ、ブラックミュージックなど、多彩なジャンルの演奏が行われました。バンドスタイルからコーラス、ひとりオーケストラまで、電子オルガンならではの演奏でホール全体を沸かせました。その富岡氏は、本学講師の鷹野とは音楽学校時代の同級生。ステージ上では学生時代のエピソードで二人が盛りあがる場面などもありました。

続いて、ジャズ界で活躍するアレンジャーの守屋純子氏から、ビッグバンドのスコアを基にアレンジテクニックを学びました。曲はビッグバンドを代表するカウント・ベイシー楽団の名曲「Strike Up The Band」。この曲のスコアを読み解き、エレクトーンへ取り入れるためのポイントを解説。ビッグバンドはエレクトーンにとって相性の良い題材ですが、管楽器が13本もあり、そのままエ



1



2



3



4



5



6

1 演奏講座の様子
2 鷹野雅史准教授のELS-02講座
3 富岡ヤサヤ氏のライブステージ
4 守屋純子氏のビッグバンド・アレンジテクニック講座
5 参加者のステージ演奏
6 懇談会の様子

レクトーンに移すことは不可能です。そこで、重視すべきポイントと省略してもよい箇所などを意識しながらの、スコアの見方・分析のコツを分かりやすく解説しました。さらに、電子オルガンと管楽器のアンサンブル演奏による、アレンジの良さ・楽しさを確認。演

奏には本学卒業のプロミュージシャンも参加しました。

プログラム終了後の懇親会では、2号館ロビーに軽食などが用意され、参加者の皆さんは本学講師、サポート学生たちとの交流を楽しみました。

音楽学部

Nagoya University of Arts Strings 第7回定期演奏会

2014年8月28日(木)、名古屋市中区の電気文化会館ザ・コンサートホールにおいて、Nagoya University of Arts Strings 第7回定期演奏会が開催されました。

NUA Stringsは2008年、アンサンブル研究所に所属する名古屋芸術大学・同大学大学院弦楽器専攻の卒業生により結成されたアンサンブルで、現在は現役の学生も参加しています。音楽監督に同大学の教授である森典子氏を迎え、年1回の定期演奏会を行っています。今回のアンサンブルは、ヴァイ

オリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、クラリネット、ホルン、パーカッション、チェンバロの構成で、ヴィオラ演奏及び指揮を本学の客員教授である林 徹也氏が執りました。

プログラムは、まず、バーバーの「弦楽のためのアダージョ 作品11」が演奏され、続いて、ヴィヴァルディの「2つのヴァイオリンのための協奏曲 イ短調 作品3-8」を本学の森 典子氏と、名古屋フィルハーモニー交響楽団ヴァイオリニストの神戸潤子氏が協奏されました。その後、シュターミッツの「ヴァイオラ協奏曲 第1番 二長調 作品1」を林 徹也氏が演奏しながら指揮も執りました。休憩を挟んで後半は、ビゼーの



1 NUA Strings の演奏風景
2 2つのヴァイオリンのための協奏曲：森典子氏(左)と神戸潤子氏(右)の演奏
3 林徹也氏のヴァイオラ演奏(中央)
4 指揮を執る林徹也氏

「カルメン組曲(シチュドリン編曲版)」が演奏され、会場は大いに盛り上がりました。

客席からは大きな拍手が送られて演奏会は予定通り終演となりました。

人間発達学部

オープンキャンパスが開催されました

2014年8月23日(土)、本学東キャンパスで、人間発達学部のオープンキャンパスが開催されました。2014年度は「感性を育むチカラがここに。」をテーマに、模擬授業やサークル発表会が催され、参加者のみなさんに学部の魅力を十分に体験していただきました。

人間発達学部のオープンキャンパスは、午前と午後の2部構成です。午前のプログラムは「全体説明会」でスタート。

オープニングでは、オリジナル絵本「はんぶんこ」の読み聞かせが行われました。これは、人間発達・美術・音楽の各学部の学生たちがコラボレーションする「つなぐプロジェクト」として、絵本を美術学部の学生が制作、伴奏を音楽学部の学生が担当。そして絵本の朗読を人間発達学部の学生が行いました。名古屋芸大の持ち味を活かしたこの絵本の読み聞かせに、会場から大きな拍手が沸き上がりました。

続いて、学部のカリキュラムや教育内容、学校行事など、学内のさまざまな活動や入試情報について説明する「学生トーク」が行われました。人間発達学部の4名の学生が、それぞれ大学に入学して自ら体験したエピソードなどを交えて分かりやすく解説しました。

休憩を挟んで参加者は「模擬授業」を体験しました。久保博満准教授が担当する「伝統的な言語文化体験」と南元子准教授による「あなたに届け! 私の想い、私の言葉」の2講座です。

最初の「伝統的な言語文化体験」は、遊びを通じて伝統文化を伝えるプログラムです。授業では参加者にも協力してもらい、百人一首を使った「坊主めくり」を行いながら、誰が勝つかをみんなで予想します。勝者を予測した理由を紙に書き出すことで、洞察力と表現力を育みます。

また、「あなたに届け! 私の想い、私の言葉」は、はじめて会った者どうしが協力して行うプログラムです。参加者全員が1号館7階の広いロビーいっぱいになり、「誕生日」や「血液型」、「名前」など、ルールを決めて並び直したり、グループになったりしました。参加者は100人を超える人数で達成できた喜びと、はじめて会ったお友達とのコミュニケーションの仕方を体験しました。

この模擬授業の後は、グループに分かれ「キャンパスツアー」へ出発! クリエ幼稚園をはじめ、ピアノ練習室、図書館、学生支援課などを見学しました。

午後は、「体験授業」、「サークル発表会」などのプログラムが1号館・8号館・11号館で開催され、参加者は好きなイベントを選んで体験しました。

1号館の「体験授業」は、昔の文字が刻まれた大きな印鑑を、実際に紙に押しつけて文字を学ぶ「漢字のヒミツ体験コーナー」(国語)、パズルを使い日本の47都道府県を確認する「パズルで覚える日本地図」(社会)、小学校や幼稚園で使える科学の豆知識を体験できる「骨格で分かる! 男女の見分け方」が行われました。

他にも、1号館には、入試や授業内容などの質問に応える「なん



1 オープニングの絵本読み聞かせの様子
2 絵本読みの伴奏をする音楽学部の学生たち
3 模擬授業「伝統的な言語文化体験」の授業風景
4 模擬授業「あなたに届け! 私の想い、私の言葉」の授業風景
5 キャンパスツアーの様子
6 「はんぶんこ」制作体験の様子
7 体験授業「漢字のヒミツ体験コーナー」の授業風景
8 体験授業「パズルで覚える日本地図」の授業風景
9 体験授業「骨格で分かる! 男女の見分け方」の授業風景
10 「ピアノアンサンブル体験! & ピアノ相談」の様子
11 サークル発表会の吹奏楽演奏シーン
12 相談コーナーの様子
13 紙芝居コーナーの様子

でも相談コーナー」、学生と交流ができる名古屋芸術大学オフィシャルFacebookの「Facebook登録コーナー」、ぶんぶんと回るコマを学生といっしょに作る「ぶんぶんゴマ制作体験」、学生が紙芝居を読み聞かせる「紙芝居コーナー」が設けられました。

8号館では「サークル発表会」

が行われ、吹奏楽演奏やダンスが披露されました。11号館には「ピアノアンサンブル体験とピアノ相談」、学生による「絵本の読み聞かせコーナー」が設けられました。どのプログラムも参加者に好評で、楽しみながら学生や教員と交流を深めていました。

美術学部 デザイン学部
オープンキャンパス
2014が開催されました

2014年7月20日(日)、本学西キャンパスで、美術学部・デザイン学部のオープンキャンパスが開催されました。「アートのチカラを、感動体験！」をテーマに、多彩なプログラムで美術学部・デザイン学部の魅力を、参加者の皆さんに体験していただく機会となりました。

今回のオープンキャンパスは、ワークショップ(工房体験)をはじめ、スチューデントギャラリーや企画展など、参加者の皆さんに一日楽しんでいただくため、講師や学生たちがアイデアを凝らし、思いを込めて準備をしてきました。「ワークショップ」は、日ごろ美術学部やデザイン学部で、どのような制作が行われているかが体験できるプログラムで、どなたでも参加いただけ、気軽に工房体験ができます。

美術学部は日本画・洋画・アートクリエイター(コミュニケーションアート、版画・平面、彫刻、ガラス、美術文化)のワークショップが7会場で行われました。日本画は「岩絵の具で野菜を描こう」、洋画は「写真を見ながら似顔絵を描く」、コミュニケーションアートは「消しゴム版画とPCでカレンダーを作ろう」、版画・平面は「モノプリント体験」、彫刻は「マスクの模刻」、ガラスは「ガラスアートに挑戦」、美術文化は「アートカフェ」に取り組みました。

一方、デザイン学部は、ヴィジュアルデザイン・イラストレーション・メディアデザインなど、各コースのワークショップが10会場で行われました。ヴィジュアルデザインは「カフェで缶バッジ制作」、イラストレーションは「似

顔絵にチャレンジ」、メディアデザインは「コマ撮りアニメーション制作」、メディアコミュニケーションデザインは「写真+グッズ+アートによるコミュニケーションデザイン」、インダストリアルデザインは「カーデザイン入門」、セラミックデザインは「デザイントレイの制作」、スペースデザインは「ライティングデザイン入門」、メタル&ジュエリーデザインは「シルバーリング制作」、テキスタイルデザインは「輪ゴムで織るリストバンド」、デザインマネージメントは「職とデザイン/暗闇ランチ体験」にチャレンジしました。

また、今回のオープンキャンパスでは、ヴィジュアルデザインコースによる公開授業「スイーツのブランディング」と「新しいスイーツの提案」が行われました。これは4年生を対象にした授業で、「スイーツのブランディング」は、特別客員教授の資生堂宣伝制作部 檜原由比子氏を講師に招いたワークショップ、「新しいスイーツの提案」は半田市のパティスリー FUKAYA協力によるMD(商品化計画)プロジェクトです。「スイーツブランディング」は、4グループがスイーツと展示方法を提案する取り組みで、当日は最終プレゼンテーションが行われ、講師の檜原氏から作品の講評・アドバイスを受けました。また、「新しいスイーツの提案」では、実際にお店で販売するスイーツの商品開発に取り組み、パティスリー FUKAYA オーナー立会いのもと、商品提案を行いました。実際の授業を体験した参加者たちは、プレゼンテーションの様子を見守りつつ、学生作品のクオリティの高さを実感した様子でした。

他にも、美術学部・デザイン学部の学生作品を展示する「スチューデントギャラリー」がG棟

(美術学部)やX棟(デザイン学部)に設けられ、アート&デザインセンター・ギャラリーBEでは、企画展として「スペースデザインコース展」、「デザイン研究科(大学院生)演習」、「キングモックト工科大学/版画コース 交流展」が開催されました。学生作品に触れられる機会として、会場には多くのギャラリーが訪れました。

また、「持参作品へのアドバイス」や「進路・入試相談」コーナー(美術学部:G棟201教室、デザイン学部:X棟デザイン事務室)では、担当教員からさまざまなアドバイスを受け、真剣に耳を傾ける

参加者の姿が印象的でした。総合受付を出発点としたキャンパスツアーも随時実施され、参加者たちは西キャンパスの施設全体を見学しながら説明を受けました。

なお、今回のオープンキャンパスでは「学生プロジェクト」として、学生たちがキャンパス情報を投稿するFacebookの登録方法をレクチャーする「教えて!聞かせて!NUA相談所」がB棟学生食堂前に設置され、参加者は学生たちと話を楽しんだり、気軽に質問したりと、お互いにコミュニケーションを深めました。



1 岩絵の具体験(日本画)
2 消しゴム版画でカレンダーを作ろう(コミュニケーションアート)
3 油性インキを使った版画体験(版画・平面)
4 石膏マスクをモデルに粘土で模刻(彫刻)
5 吹きガラスでオリジナルコップを制作(ガラス)
6 カフェエ気分で作る缶バッジ制作(ヴィジュアルデザイン)
7 似顔絵を描きあいコミュニケーション(イラストレーション)
8 コマ撮りアニメーション制作(メディアデザイン)
9 カーデザイン入門(インダストリアルデザイン)
10 プラスチック成型機でオリジナルトレイを制作(セラミックデザイン)
11 ヴィジュアルデザインコース公開授業「新しいスイーツの提案」の様子
12 美術学部のスチューデントギャラリー
13 教えて!聞かせて!NUA相談所での交流の様子

美術学部 デザイン学部
小中学生とシニアの
芸術体験イベント
「一日芸大生」が行われました

2014年8月3日(日)、本学西キャンパスで、今年も『一日芸大生』が開催されました。これは、小学生、中学生、シニアの方を対象に、体験講座を通じて一日芸大生としてキャンパスライフを楽しんでもらおうという催しです。美術学部とデザイン学部が趣向を凝らして準備した、芸大ならではの13講

座へ、今年も多数の応募をいただきました。

午前10時からの入学式は、美術学部はB棟大講義室、デザイン学部はG棟207教室でそれぞれ分かれて行われました。学部長のウエルカムスピーチ、各講座の担当講師やチューターの紹介、スケジュール説明などが行われました。各学部長は「参加者の皆さん、今日は芸大生として一日存分に楽しんでください。」との言葉を送り、受講会場へと参加者を送り出しました。参加者は受講コースごとに

別れて教室に移動すると、担当講師から取り組みテーマや制作工程などの説明を受け、いよいよ制作に取りかかります。

午前の授業が終わると、お待ちかねの昼食タイムです。本校の学生たちが考えた特製ランチを参加者の皆さんに楽しんでいただきました。最初は緊張気味だった子どもたちも、この頃にはすっかり仲良くなり、食事の間のおしゃべりも弾んでいました。チューターのお兄さんやお姉さんから大学のことや授業の話の聞いたりして、

あっという間の1時間でした。午後からは保護者の皆さんを対象にした見学ツアーも開催され、担当講師による大学の説明や制作現場の見学も行われました。

終業のアナウンスで楽しかった授業も終了。この日制作した作品を持ち寄り、入学式が行われた会場で、それぞれ卒業式が行われました。各コースの実施報告の後、学部長より卒業証書が渡され、芸大生体験も全員揃って無事卒業です。参加者の皆さんお疲れさまでした。来年の一日芸大生にもぜひ

ご参加ください。
当日行なわれた講座内容は次のとおりです。

- ◆日本画コース「絵巻物を作ろう」
〈対象：小学生・中学生〉
和紙に墨や岩絵の具を使ってオリジナルの絵巻物を制作しました。
- ◆洋画コース「砂絵」〈対象：小学生・中学生〉
カラフルな砂を使って絵を描きました。
- ◆アートクリエイターコース「彫刻」〈対象：小学生・中学生〉
テラコッタ粘土を使って地球に住む生き物を作りました。
- ◆アートクリエイターコース「ガラスアート」〈対象：中学生〉
サンドブラストでガラスに模様を彫りました。パーナーワークでトンボ玉作りに挑戦。
- ◆アートクリエイターコース「陶芸」〈対象：小中学生・シニア〉
ロクロでさまざまな鉢作りに挑戦しました。
- ◆アートクリエイターコース「版画」〈対象：小学生・中学生〉
多色摺りリトグラフにチャレンジしました。
- ◆アートクリエイターコース「シルクスクリーン」〈対象：中学生〉
シルクスクリーン印刷でオリジナルTシャツを作りました。
- ◆メディアデザインコース「アニメーション制作」〈対象：中学生〉
ビデオカメラとコンピュータを使ってコマ撮りアニメに挑戦。

- ◆インダストリアルデザインコース「プロダクトデザイン入門」
〈対象：小学生・中学生〉
木型を使った真空成型体験。完成した型でオリジナルゼリーが楽しめます。
- ◆スペースデザインコース「イスのデザインと制作」〈対象：小学生・中学生〉
木と鉄パイプを組み合わせたかわいいうす作りに挑戦しました。
- ◆メタル&ジュエリーデザインコース「オリジナルジュエリー制作」〈対象：小学生・中学生〉
ペンダントや指輪などシルバーアクセサリーを制作。
- ◆テキスタイルデザインコース「ミサンガ制作」〈対象：小学生・中学生〉
カラフルな糸を使って手作りのミサンガを作りました。
- ◆デザインマネジメントコース「昆虫のデザイン」〈対象：小学生・中学生〉
紙などを使って、架空の昆虫をつくり標本にしました。



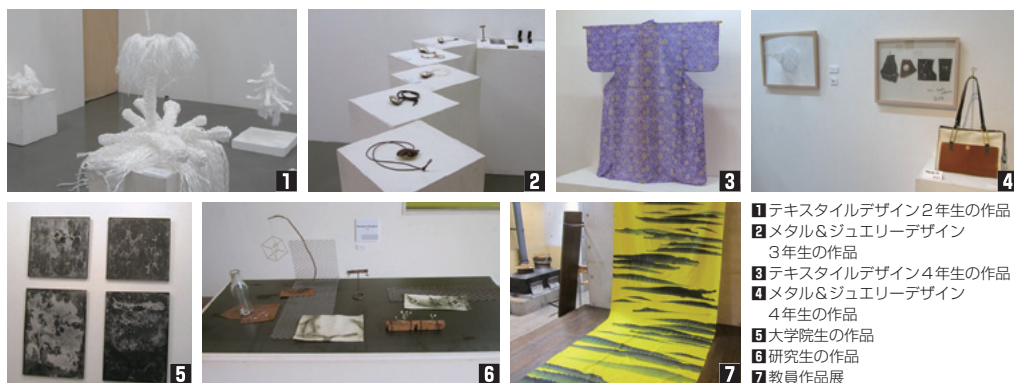
1 絵巻物を作っている受講生(日本画コース)
2 カラフル砂絵の制作(洋画コース)
3 地球に住む生き物をテラコッタ粘土で作る(アートクリエイターコース【彫刻】)
4 壺の制作風景(アートクリエイターコース【陶芸】)
5 パーナーでガラスを溶かしてトンボ玉を作っている(アートクリエイターコース【ガラス】)
6 リトグラフ制作の様子(アートクリエイターコース【版画】)
7 シルクスクリーンでオリジナルTシャツを制作(アートクリエイターコース【コミュニケーションアート】)
8 アニメーションの制作風景(メディアデザインコース)
9 プロダクトデザイン入門(インダストリアルデザインコース)
10 椅子のデザインと制作(スペースデザインコース)
11 オリジナルジュエリーの制作(メタル&ジュエリーデザインコース)
12 ミサンガ制作の様子(テキスタイルデザインコース)
13 オリジナルな昆虫のデザイン(デザインマネジメントコース)

デザイン学部

クラフトブロック 前期制作展 「素材展」が開催されました

2014年7月25日(金)から8月6日(休)まで、本学西キャンパスで、デザイン学部クラフトブロック前期制作展である恒例の「素材展」が開催されました。

この展示会は、デザイン学部のクラフトブロック(メタル&ジュ



1 テキスタイルデザイン2年生の作品
2 メタル&ジュエリーデザイン3年生の作品
3 テキスタイルデザイン4年生の作品
4 メタル&ジュエリーデザイン4年生の作品
5 大学院生の作品
6 研究生の作品
7 教員作品展

Column NUA No.26

世界劇場

デザイン学部教養部会教授 依田義丸

ロンドンを訪れることが、このところ毎夏の恒例になっています。と言っても、その目的は有名な寺院や美術館に行くことではなく、グローブ座でシェイクスピアの劇を観ることです。今年も、King LearとAntony and Cleopatraを観てきました。私の専門分野がシェイクスピアであることを知る人たちは、グローブ座語でを研究の一環な

のだろうと不思議に思いませんが、高齢になった身に文字通り鞭打って出かけていく本当の理由は、他ならぬグローブ座で繰り広げられる祝祭に立ち会うためなのです。

エリザベス朝時代にテムズ河南岸にあったグローブ座は、座付作家としてシェイクスピアが所属した劇団の根拠地でした。現在のグローブ座は、元の劇場があった跡地に1997年になって復元されたものです。屋根のない立ち見になっている土間席や劇場の円形の建物を形づくるようにつくられた三階の桟敷席にも特徴がありますが、一番目

立つのが独特の構造をもつ舞台です。具体的には、舞台は平土間に突き出した、幕を持たない張り出し舞台で、どの作品でも原則的に一切の背景なしで使われます。舞台には二本の柱に支えられた天井があり、そこには天空が描かれています。舞台の下は、日本演劇の「奈落」に似て、the Hell(地獄)と呼ばれました。舞台が、天上と地獄の両方に挟まれたこの世を表すという洒落た創りになっていたのです。シェイクスピアの劇は、こうした象徴性をもった、能舞台のような簡素な舞台で演じられたのです。この世が舞台であるという「世

エリーデザインコースとテキストイルデザインコース) 関係者全員の作品を公開展示するもので、毎年、学生作品展と教員作品展に分かれて行われています。

学生作品展はアート&デザイン

センターギャラリーで、学部2年生と3年生の作品展が7月25日(金)から7月30日(木)まで、学部4年生と研究生・大学院生の作品展が8月1日(金)から8月6日(木)までそれぞれ行われました。

教員作品展はX棟1階の和室で、7月25日(金)から8月6日(木)まで期間を通して開催されました。

学生達にとっては2014年度の前期を総括する作品展であり、前期に制作した代表的な作品が展示

されていました。

大変見ごたえのある展覧会で、多くのギャラリーが会場を訪れていました。

名古屋芸大グループ校特集

名古屋芸術大学 附属クリエ幼稚園

「1日限りのお仕事発見 幼稚園教諭・保育士体験」として、8月1日に愛知県下の高校生26名、岐阜県下の高校生3名がクリエ幼稚園に来園しました。その週は夏期保育中で、子どもたちはどのクラスもほぼ出席していました。

本園は、名古屋芸大の学生の実習園として、1学期の間に50名ほどの学生を受け入れ、また、外部の大学からも実習生を受け入れていますので、子どもたちはお姉さん先生やお兄さん先生に、大変懐っこい態度で接していました。

当日は、各クラスに高校生が入り、自己紹介から始まりました。子どもたちの真っすぐな目が高校生一人一人に向けられ、少し照れた様子の人もいたようでした。

その後は各クラスでの活動です。年長1クラスと年中1クラスと一緒に遊戯室でゲームを行いました。はじめは、じゃんけんをしながら負けた人が勝った人の後ろにどんどん繋がっていく「じゃんけん列車」でした。じゃんけんでは負けた子どもが高校生の後ろに繋がるときに、肩の位置が高いため、かかんで繋がってくれたり、じゃんけんの勝ち負けを優しく教えてくれたりと、子どもと自分の背丈の違いや言葉遣いなど、遊びの中で自然に対応している高校生の姿が見られました。

また、年少児のクラスに入った高校生は、まさに、その時間は子どもたちがトイレに行く時間でし

た。たまたま、お漏らしをした子どもがいたり、お姉さん先生に会えたことがうれしくて、トイレに行くのを嫌がったりと、どうしていいか分からず、戸惑っている様子がみられました。

あるクラスでは、高校生が一人ずつ順番に子どもたちの前で、紙芝居の読み聞かせをしていたり、子どもの名前を呼んで持ち物を手渡していたりしていました。

このように、約1時間、幼稚園の子ども達と一緒に過ごしなが、幼稚園の先生の仕事のほんの一端ですが、体験できたようです。

参加した高校生からは、次のような感想が聞かれました。

- 年少さんは、トイレに時間がかかったり、話していることがよくわからず、返事をするのが難しかったです。
- 椅子や机やスリッパなどすべてのものが小さくてびっくりしました。
- 一人一人に違った対応をしなければいけないのが大変でした。
- 子どもと手をつないだときに、とても小さくて少しでも強く握ったら折れてしまうのではないかと思います。
- はじめは不安でしたが、子どもの方から話しかけてくれたので楽しく過ごせました。
- 年少さんではできないことも、年長さんは自分でいろいろなことができていたので驚きました。
- 先生の指示をきちんと聞いて、それができていたし、なかには、周りの子に教えている子もいたのですごくいいと思いました。

- 子どもは素直でかわいいと思いました。
- 幼稚園の先生の仕事は体力がいり大変な仕事ですが、やりがいのある仕事だと思います。

高校生からみた幼稚園の子どもたちは、きっと「小さい子」であったと思います。小さいからかわい

い、小さい子ども達と一緒に遊ぶのは楽しい、という気持ちは大切です。さらに、幼稚園の先生のやりがいをどのように見つけていかをこの職業体験で少しでも自分なりに考えてくれるきっかけとなってくれば、意義のある1日になったのではないかと思います。



界劇場」(ラテン語では、Teatrum Mundiと言います)の考え方は、とても古いものです。その起源は古代世界に発するもので、プラトンにもアウグスティヌスの著作にも認められる考え方です。直接演劇に従事した劇作家たちにそうした考え方がとりわけ鮮明に認められることは当然ですが、中でもそれを目立って強く意識していたのが、シェイクスピアでした。実際、彼は、As You Like ItでJaquesという人物に“All the world's a stage./ And all the men and women merely players.”(「この世は舞台だ、そしてすべての男

も女も役者に過ぎない」と言わせています。注意すべきは、シェイクスピアにとって、それは単なる比喩表現を越えて、人間存在そのものの認識になっているということです。シェイクスピアは、この世界における生の営み自体が、神や運命によって書かれた台詞を人間が話すようにされている演劇そのものであることを我々に教えているのです。そういう意味では、私が立ち会うために行くグローブ座の祝祭とは、まさに存在の演劇性を祝する祭りだと言えます。

名芸大の英語の時間に、今年もdramaをベース

にした英語教育を実践しています。それが生の演劇性に乗った最も自然な語学学習の仕方であることを改めて意識しながら、後期の授業に臨む気持ちです。



グローブ座の
開演前の内部風景

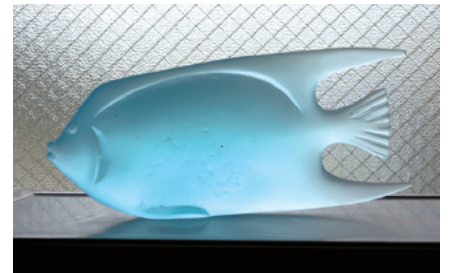
マスター



アーティスト

【第26回】

< 受け継ぐもの >



作品作りで大切にしていることは？
「自分がどういう意図で、これを作ろうとしているのか、当然、作品の出発点が大事。でも、作っているうちに変わってくる可能性もあります。一貫性がないのかな（笑）。とにかく、いつも幅広く作って行きたいと思っています」

三枝 優

美術学部 教授

(さいぐさ まさる)

1947年 三重県生まれ
1970年 武蔵野美術大学 造形学部彫刻学科卒業
1974年 日展出品、初入選
1976年 日影展・東海日影展出品、以降現在まで毎年出品
1982年 日影展努力賞受賞
1985年 日影東海展中日賞受賞
1991年 日展東海展中日賞受賞
1995年 日影東海展中日賞受賞
2012年 日影東海展中日賞受賞
日本彫刻会・愛知芸術文化協会会員、守山美術振興会役員



アトリエになっている研究室にお邪魔した。作業ズボン姿が、衰えることのない創作意欲を示すようで、爽快である。部屋の中には、等身大の女性像があり、その周りには、30cmほどのテラコッタの像、レリーフ、具象ではなくスマートにデザインされた動物や魚のガラス作品などが無造作に置かれている。そして、数々のヘラや工具の隣には、どんとガラス用の電気炉が鎮座している。「ガラスの先生からすれば不純物が混ざると怒られちゃうかと思いますが、これでテラコッタも焼いています。焼き物も専門じゃないですから、陶芸の技術的なことをほかの先生から教えてもらいながらやっているんですよ」具象彫刻と意匠化されたオブジェたちの源流を探るべく、彫刻の道を選んだ理由を尋ねてみた。「いい加減に聞かえるかもしれないですが……」と前置きしつつ「父親のやっていたことを見ていたことが大きいですね」という。

御親父は、本学名誉教授でもあった三枝惣太郎氏。1935（昭和10）年に東京美術学校彫刻科（現・東京藝大）を卒業し、戦後は名古屋製陶株式会社（戦前は日本陶器（現・株式会社ノリタケカンパニーリミテド）と並ぶ大手陶磁器メーカーで、洋食器を世界中へ輸出した。1969（昭和44）年に会社は解散。名古屋製陶の鳴海工場が独立し現在の鳴海製陶株式会社となっている）の原型室に勤めた。会社解散後の1970（昭和45）年からは、創立されたばかりの本学で美術学部教授として教壇に立ち、定年を迎えるまで後進の育成に尽力した。学生の頃から日展に出品し、名古屋製陶に勤めている時代も仕事の傍ら作品作りに励み、同時に会社の部下達に彫刻を教えていたという。惣太郎氏は「デザインをやる人間も絵を描く人も彫刻をやらなければだめだ」という信条の持ち主であったそうで、彫刻、立体に対する意識に確固たるものを持っていた。そんな御親父の作品

に取り組む姿勢を見ているうちに、彫刻家への道を志すようになったのだろう。「子供の頃は、音楽に興味があって音楽の方へ進みたいと思っていましたよ。ところが、高校を受験する時になって成績が芳しくない（笑）。担任の先生にお説教を受けているときに助け船を出してくれたのが美術の先生でした」旭丘高校美術科に志望を決めたのは中学3年の夏を過ぎてから。それから、初めてのデッサンに取り組んだ。「ありがたかったのは、親父がデッサンを指導してくれたことなんです。2ヶ月ほどの短い間だけだったんですが、なんとか試験を乗り越えることができました。発表を見に行ったら自分の番号があって、もう、天にも昇る気持ちで、購買で校章を買って帰りました（笑）。僕の出発点はそこですよ」高校では、父親を見習うように、ごく自然に彫刻を選択するようになった。

「自分としてはどうしても東京に行きたかった、浪人はしたくなかったですし。な



『RIHO』
2002年

尾張旭市内のモデルハウス内に展示。「個人的に、気に入っている作品です」



『勇』

2011年
尾張旭ライオンズクラブ寄贈

『Friend』
2010年

師勝中学校寄贈。モチーフの犬は、飼っていた愛犬。作品には、どれも個人的な思いが込められているという。「作品が残せるというだけで幸せな話ですね」



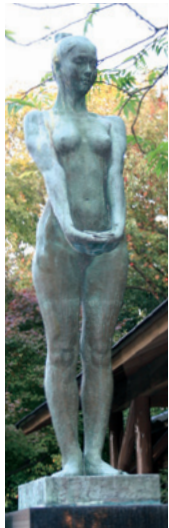
『遙』

春日井市立小野小学校創立100周年記念モニュメント。「モデルなしのため難しかったです。モデルがいないと自然さがなくなる危険性がありますね」



『時の狭間に』
2006年(設置)

尾張旭市健康福祉センター30代の頃の作品。日展に出品されたもの。



『芽ばえ』
2000年(設置)
城山公園
「彫刻の森」



『車内の母子』テラコッタ作品



『夢』2001年

<個展>

1988年 「父子二人展」
ギャラリー「a」
二人展
1989年 「親子彫刻展」
二州足助屋敷展示場
二人展
1990年 「デッサンと彫刻展」
ギャラリー「一色」
二人展

1991年 「親子美術展」
MOA名古屋ギャラリー
個展
1998年 「三枝 優展」
坂角ギャラリー
個展
1999年 「父子二人展」
今治市城山画廊、ストーンミュージアム
二人展

2000年 「三枝惣太郎・優二人展」
今治市城山画廊、ストーンミュージアム
二人展
2006年 「三枝 優展」
尾張旭市ギャラリー「UP NORMAL」
個展
2006年 高松市立石の民俗資料館
個展
2007年 北名古屋市ハルクリックギャラリー

2007年 守山区美術振興展
2007年 旭美14期展(Groupe 14c展)
2008年 尾張旭市芸術展
2008年 守山区美術振興展
2008年 第38回 日彫展
2008年 東海日彫展



『二人のVenusのtorso』1995年

んとか親父を説得し学費を出してもらった」高校を卒業し武蔵野美術大学へ進学した。時代は、学生運動真っ盛り、70年安保で揺れていた。三枝氏が2年生の頃から授業もままならなくなり、翌年は1年間休講、大学側の要請で機動隊が校内に入りロックアウト(学園封鎖)された。「自分としては、学生運動は『本当じゃないな』と感じていました。やっていることに賛同できませんでした。いやな時代だったと思う」という。ノンポリ(非政治的)というより、自分のことや作品作りで精一杯だったのだろう。ちょうどその頃は、日本の彫刻界は多様化し始めた頃にあたり、抽象彫刻に加え、ステンレスや樹脂、石彫など、さまざまな素材の模索と探求が行われていた。多くの学生は、新しい現代彫刻へと向かったという。そんな中「学生時代は『彫刻はこうあるべし』とかたくなに信じ込んでいるところがあり、具象をずっとやっていましたね」大学を出てからも、作家に

なるべく東京に残り、さまざまな職業に就きながら、作品を作り続けた。「企業に就職する気にもならなくて、まず食べるための仕事を、とにかくできることを肩ひじ張らずにやっつけようと思いました。トラックの運転手や樹脂の制作会社……。自分を試すつもりもあつたんですが、失敗ばかりでしたね、給料を差し引かれるようなことばかりで(笑)。今にして思えばいい社会勉強でしたよ」肉体労働と作品作りの生活が始まった。職業を変えながら、東京から名古屋へ場所も移ったが、作品は作り続けた。

三枝惣太郎氏は具象彫刻のほか、置物や花器、香炉など、日常的な作品も数多く手がけている。戦前からこうした取り組みを行っており、個展では具象彫刻と販売を目的とした小品が並べられて展示されていた。しばしば、こうした在り方は、批判されることもあったという。当時の美術の評



『南吉語らいの椅子』
新美南吉ブロンズ像「南吉語らいの椅子」。安城市の市街中心地に飾られている。ごく自然にベンチで本を読む姿が、南吉が過ごした日々を想起させる。ふわりとした空気感が穏やかな気分になさせてくれる。

価では、こうした考え方は受け入れ難いものだったのだ。しかしながら、周囲の雑音に捕らわれることなく、こうしたスタンスを惣太郎氏は貫き通した。時代は変わり、現在では、こうした美術への取り組みは自然なものになった。そして、三枝氏がごく自然にこうしたスタンスを惣太郎氏から引き継いでいることは、研究室を見渡せば即座に理解できる。

「現代彫刻の分野が大きくなっていますが、具象彫刻がなくなるわけではありません。なくしちゃいかんな、と思っています」聞けば、純粋な具象彫刻に取り組んでいる大学は、現在では本学と国内に数校、数えるほどしかないとのことだ。引き継いで行かなければならないものがここにある。

■舟橋三十子
(名古屋芸術大学音楽学部 音楽文化創造学科教授)WEB連載
『みとこ先生の「音大入試の楽典ガイド」
～名曲で学ぶ音楽の基礎～』
(音楽之友社)
http://www.ongakunotomo.co.jp/
web_content/gakuten/index.html

Books 版

教員著作の出版物のご紹介です。(編集限定までに報告されたもの)



みとこ先生の音大入試の楽典ガイド
音楽之友社

2014年度音楽学部演奏会入ケジュール (2014年10月～2015年2月)

※予定はつき変更になる場合がありますので、事前にお問合わせ先へご確認ください。

お問合わせ先 名古屋芸術大学音楽学部演奏課
0568245114

10月
第22回ピアノのタベ
日 時/10月28日(火) 17:30開演予定
会 場/電気文化会館 ザ・コンサートホール
入場料/無料 (全自由席)

11月
音楽学部第37回定期演奏会
日 時/11月20日(木) 18:00開演予定
会 場/三井住友海上 しらかわホール
入場料/無料 (全自由席)

12月
オーケストラ第32回定期演奏会
指 揮/古谷 誠一
日 時/12月4日(木) 18:45開演予定
会 場/日本特殊商業市民会館
フォレストホール
入場料/無料 (全自由席)

「Earth Echo」電子オルガンコース
第17回定期演奏会
日 時/12月11日(木) 開演時間未定
会 場/熱田文化小劇場
入場料/無料 (全自由席)

第33回室内楽のタベ 小編成の部
日 時/12月16日(火) 18:00開演予定
会 場/熱田文化小劇場
入場料/無料 (全自由席)

第33回室内楽のタベ 大編成の部
日 時/12月18日(木) 18:00開演予定
会 場/名古屋芸術大学音楽学部3号館ホール
入場料/無料 (全自由席)

2月
第13回 歌曲のタベ
日 時/2月3日(火) 18:00開演予定
会 場/熱田文化小劇場
入場料/無料 (全自由席)

研究生修了演奏会
日 時/2月4日(水) 18:00開演予定
会 場/電気文化会館 ザ・コンサートホール
入場料/無料 (全自由席)

アンサンブル・フィラルモニク・ア・ヴァン
第16回定期演奏会
指 揮/ヤン・ヴァン デル ロースト
小野川 昭博
日 時/2月14日(土) 18:15開演予定
会 場/会場未定
入場料/無料 (全自由席)

ピアノのしらべ 第19回 春のコンサート
日 時/2月19日(木) 17:30開演予定
会 場/熱田文化小劇場
入場料/無料 (全自由席)

大学院音楽研究科特別演奏会
日 時/2月20日(金) 17:30開演予定
会 場/熱田文化小劇場
入場料/無料 (全自由席)

Kaleidoscope2015
日 時/2月22日(日) 16:00開演予定
会 場/名古屋芸術大学音楽学部3号館ホール
入場料/無料 (全自由席)

オペラ公演
日 時/2月27日(金) 開演時間未定
会 場/千種文化小劇場
入場料/無料 (全自由席)

日 時/2月28日(土) 開演時間未定
会 場/千種文化小劇場
入場料/無料 (全自由席)

チケットお取り扱い場所

- 名古屋芸術大学音楽学部演奏課
Tel. 0568-24-5141
- 愛知芸術文化センター B2F プレイガイド
Tel. 052-972-0430
- ヤマハミュージック名古屋店プレイガイド
Tel. 052-201-5152
- カワイ名古屋
Tel. 052-962-3939

アート&デザインセンター 2014年度展覧会入ケジュール(予定)

- 10/31(金)～11/ 5(水) アーラ!ラジオ&名古屋芸術大学 大学院同時代表現研究(洋画)・京都造形芸術大学 大学院P+PROJECTS交流展
- 11/ 7(金)～11/19(水) 2014年度企画展「SHOBU STYLE～工房しよぶの仕事～」展
- 11/21(金)～11/26(水) MCD デパートメント
- 11/28(金)～12/ 3(水) Media Live/メディアデザインコース展
- 12/ 5(金)～12/10(水) 美術学部 洋画2コース選抜展(仮称)
- 12/ 5(金)～12/10(水) ラスト・プレバ展
- 12/12(金)～12/17(水) こどもの空間 絵本と椅子
- 12/12(金)～12/17(水) 2014年度後期留学生作品展
- 12/19(金)～12/24(水) ガラス・陶芸コース 2・3年生合同展覧会
- 1/ 9(金)～ 1/14(水) 日本画3年作品展
- 1/ 9(金)～ 1/14(水) 漫画展覧会(仮) Open/12:15～18:00 (最終日は17:00まで) 日曜・祝祭日原則休館
- 1/16(金)～ 1/21(水) 美術学部コース展



※会期・内容は変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。
[入場料] どなたでもご覧いただけます。 お問い合わせ先(0568) 24-0325

名古屋芸術大学2015年度入試日程 (試験日が10月以降の日程のみ掲載)


学部	入試種別	出願期間	試験日	合格発表日
■ 音楽	AO入試(A)(B)	9月11日～9月25日	10月 5日	10月10日
	推薦入試・留学生	10月 8日～10月30日	11月 8日	11月14日
	3年編入試(前期)	10月 8日～10月30日	11月 8日	11月14日
	3年編入試(後期)	1月 6日～1月23日	2月 6日	2月12日
	一般A日程 社会人・留学生入試	1月 6日～1月23日	2月 5日・6日	2月12日
	一般B日程 社会人・留学生入試	2月13日～3月19日	3月25日	3月26日
■ 大学院	A日程入試	11月 4日～11月21日	11月29日	12月 5日
	B日程入試	2月13日～3月19日	3月25日	3月26日
■ 音楽研究科	研究生入試	2月13日～3月 3日	3月10日	3月12日
■ 美術	推薦入試	10月10日～10月24日	11月 2日	11月 7日
	3年編入I期入試	10月16日～10月30日	11月 8日	11月14日
	地域入試(浜松・金沢)	11月12日～11月26日	12月 6日	12月12日
	A日程第一方式(センタープラス)	1月 8日～1月22日	2月 5日	2月 9日
	A日程第二方式(一般試験)	1月 8日～1月22日	2月 5日	2月 9日
	社会人・シニア・社会人3年編入入試	1月16日～1月30日	2月 9日	2月13日
	3年編入II期入試	1月16日～1月30日	2月 9日	2月13日
	センター利用入試(前期)	1月19日～2月 2日	センター試験のみ	2月13日
	B日程第一方式(センタープラス)	2月20日～3月24日	3月26日	3月26日
	B日程第二方式(一般試験)	2月20日～3月24日	3月26日	3月26日
センター利用入試(後期)	2月20日～3月20日	センター試験のみ	3月25日	
■ 大学院	I期入試	10月16日～10月30日	11月 8日	11月14日
	美術研究科 II期入試	1月21日～2月 4日	2月12日	2月20日
■ 研究生	研修生入試	1月21日～2月 4日	2月12日	2月20日
■ 研究生	研究生入試	2月13日～2月27日	3月 6日	3月13日
■ デザイン	推薦入試	10月10日～10月24日	11月 2日	11月 7日
	3年編入I期入試	10月16日～10月30日	11月 8日	11月14日
	地域入試(浜松・金沢)	11月12日～11月26日	12月 6日	12月12日
	A日程第一方式(センタープラス)	1月 8日～1月22日	2月 5日・6日	2月 9日
	A日程第二方式(一般試験)	1月 8日～1月22日	2月 5日・6日	2月 9日
	社会人・社会人3年編入入試	1月16日～1月30日	2月 9日	2月13日
	3年編入II期入試	1月16日～1月30日	2月 9日	2月13日
	センター利用入試(前期)	1月19日～2月 2日	センター試験のみ	2月13日
	B日程第一方式(センタープラス)	2月20日～3月24日	3月26日	3月26日
	B日程第二方式(一般試験)	2月20日～3月24日	3月26日	3月26日
センター利用入試(後期)	2月20日～3月20日	センター試験のみ	3月25日	
■ 大学院デザイン	I期入試	10月16日～10月30日	11月 8日	11月14日
	II期入試	1月21日～2月 4日	2月12日	2月20日
■ 研究生	研修生入試	1月21日～2月 4日	2月12日	2月20日
■ 研究生	研究生入試	2月13日～2月27日	3月 6日	3月13日
■ 人間発達学部	AO入試(B日程)	9月 9日～9月22日	10月 5日	10月10日
	3年編入A日程入試	10月 8日～10月29日	11月 8日	11月14日
	推薦入試A	10月 8日～10月29日	11月 8日	11月14日
	推薦入試B	11月 4日～11月20日	11月29日	12月 5日
	社会人入試	11月 4日～11月20日	11月29日	12月 5日
	大学入資格審査入試	11月17日～11月28日	12月 3日(筆記)・2月6日(口試)	2月10日
	一般A日程入試	1月 6日～1月21日	2月 5日・6日	2月10日
	センター前期入試	1月 6日～1月21日	センター試験のみ	2月10日
	センター後期入試	2月13日～3月 2日	センター試験のみ	3月12日
	一般B日程入試	2月13日～3月 2日	3月10日	3月12日
3年編入B日程入試	2月13日～3月 2日	3月10日	3月12日	
一次入試	9月 8日～9月18日	10月 5日	10月10日	
二次入試	11月 4日～11月14日	11月29日	12月 5日	
■ 大学院	研究科 三次入試	2月11日～2月20日	3月10日	3月12日
■ 研究生	研究生入試	2月13日～3月 2日	3月10日	3月12日

※(注) 入試日実施されるコースや専攻の詳細及び指定推薦など上記以外の入試については、学生募集要項を参照してください。


表紙の写真

田口貴久教授 (大学院美術研究科 美術学科主任)

「画家には二種類あります。一つはアトリエが散らかっている人、もう一つはアトリエが整然と片付いている人。技術的に緻密で繊細な絵の人は、片付いているかな。感覚的な絵は、片付いていない方がいいような気がします。僕? 感覚的ですよ(笑)」アトリエの隅には愛用のカメラとオーディオ装置も。かなりのマニアとお見受けいたしました。(2014年9月2日 小牧市、ご自宅アトリエにて)



「名古屋芸大 グループ通信」ウェブサイト



大学基準協会の認定評価を再取得しました

本学は2011年4月に、大学基準協会の大学基準に適合と認定され、認定評価を再度取得しました。認定期間は、2011年4月から2018年3月までです。これにより、法令化されている「第三者による認定評価」にも合格したことになります。



【お問い合わせ先】
名古屋芸術大学 広報企画部
〒481-8502
愛知県北名古屋市熊之庄吉井281番地
電話 0568-24-0359
FAX 0568-24-0369
E-mail : groupu-shin@nua.ac.jp

※記事中のホームページアドレスは、掲載先の諸事情で転載や閉鎖されている場合がございます。あらかじめご了承ください。